

## みつかった遺物



土坑5から出土した縄文土器  
北白川下層Ⅲ式（関西系）の土器です。



石匙（いしさじ）  
石で作られた携帯用のナイフと考えられています。  
石材：①②サヌカイト、③チャート、④黒曜石



玦状耳飾（けつじょうみみかざり）  
左：径約6cm。（土坑2より出土。左下欠損。）  
右：径約4cm。（土坑3より出土。）



上段左：石斧折損未成品（作る途中で折れたもの）  
上段右：剥片（はくへん）  
下段左：磨製石斧 下段右：敲石（たたきいし）

# 東海環状自動車道 発掘調査だより

いなべ編 No.7

三重県埋蔵文化財センター

2019.11.16

## 縄文時代前期の土器や耳飾りを発見！ 《空畑遺跡》



みつかった縄文土器深鉢（土坑6、北から）

**まとめ** 今回の調査では、縄文時代前期の竪穴建物が3棟、墓の可能性のある楕円形の土坑32基、弥生時代中期の竪穴建物が1棟みつけられました。縄文時代前期の竪穴建物は、昨年度みつかったものと合わせると7棟となり、この時期としては県内最多例となります。竪穴建物には3～4m程度の小型のものと、5～6m程度の大型のものがみられることや、墓の可能性のある土坑がまとまってつくられていることなど、当時の集落のようすも少しずつ分かってきました。

出土した縄文土器には、全体形の分かるものもあり、この地域の土器の様相を知る上で貴重です。2点出土した玦状耳飾からは当時のひとびとの暮らしや交流範囲などをうかがうことができます。また、磨製石斧がこの集落内で作られていたことも分かるなど空畑遺跡は県内だけでなく全国的にも重要な遺跡といえるでしょう。

遺跡名 空畑遺跡  
原因事業 東海環状自動車道建設事業 調査委託 国土交通省中部地方整備局 調査主体 三重県教育委員会  
調査担当 三重県埋蔵文化財センター 〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503  
TEL:0596-52-1732/FAX:0596-52-7035 <http://www.pref.mie.lg.jp/maibun/hp/>  
いなべ整理所 〒511-0415 三重県いなべ市北勢町東貝野 454 番地  
TEL:0594-72-8955/FAX:0594-72-8970

## はじめに

三重県埋蔵文化財センターは、東海環状自動車道建設事業に伴い、平成29年度から、いなべ市北勢町塩崎にある空畑遺跡（そらばたいせき）の発掘調査を行っています。今回の第3次調査では、縄文時代前期（約6,000年前）と弥生時代中期（約2,000年前）の遺構・遺物を確認しました。

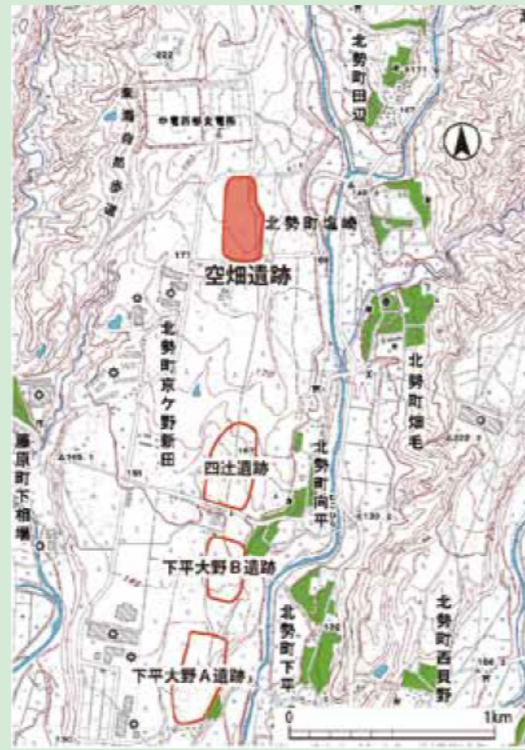
## 空畑遺跡と周辺の遺跡

空畑遺跡は、田切川の西側の「京ヶ野台地」とよばれる河岸段丘上にあります。平成18年度に、畑の中に土器や石器がたくさん落ちていることが分かり、新しく遺跡として知られるようになりました。

本格的な発掘調査は平成30年度から始まり、これまでに縄文時代前期の遺構・遺物がみつかっています。

空畑遺跡のある段丘上には、ほかに、四辻遺跡・下平大野A遺跡・下平大野B遺跡など、多くの遺跡が確認されています。

四辻遺跡では、今年度の発掘調査で縄文時代早期の竪穴建物が2棟見つかりました。下平大野A遺跡・下平大野B遺跡でも、石器などが採集されていることから、縄文時代の遺構が見つかる可能性があります。



空畑遺跡周辺の主な遺跡

## 今回の調査でみつかった遺構

今年度は、平成30年度の調査区の北側を調査しました(1,520㎡)。

今回みつかったのは縄文時代前期(約6,000年前)の竪穴建物3棟と楕円形の土坑(穴)32基、弥生時代中期(約2,000年前)の竪穴建物1棟です。

さらに、焼土痕が4か所でみつかり、今のところ正確な時期は特定できていませんが、状況から、これらも縄文時代前期のものである可能性があると考えています。

みつかった縄文時代前期の竪穴建物は円形または楕円形で、直径は約4m~約6mあります。竪穴建物1と2の中央からは炉跡とみられる焼土痕がみつかりました。

楕円形の土坑は、長径約120~200cm、短径約80~100cmの大きさで、調査区中央部付近でまとまってみつかりました。これらの土坑に人骨等は残っていませんでしたが、穴の形や出土品の状況から、墓である可能性が高いと考えています。

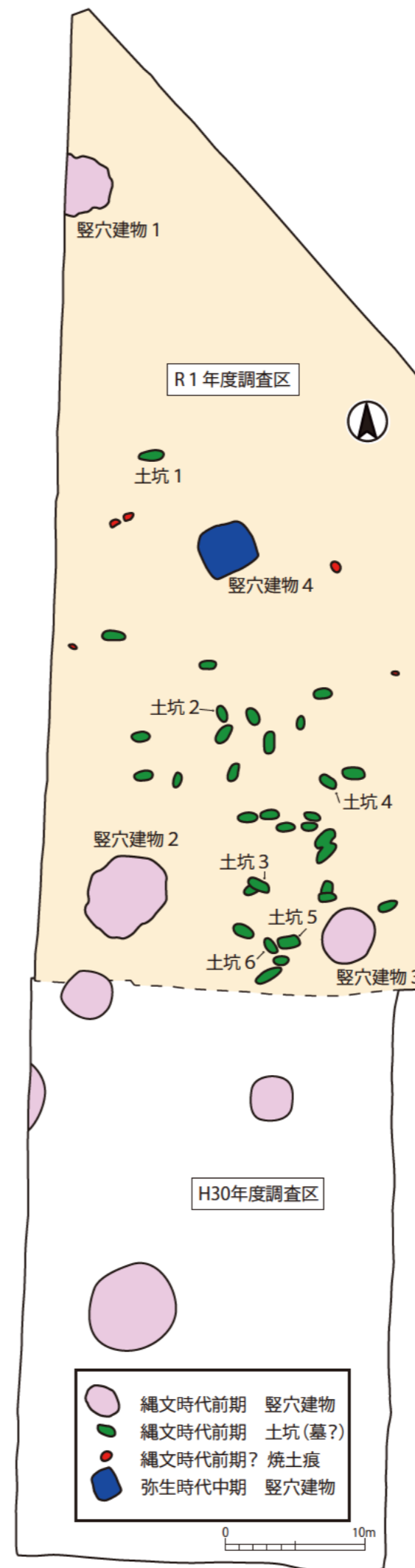
これらの土坑は数が多い割に重なりが少ないことから、つくられた当時は地上になにか目印となるものがあつた可能性も考えられます。



竪穴建物1(東から)  
直径約4.5mの円形をしています。指をさしているところに炉跡とみられる焼土痕があります。



竪穴建物3(東から)  
直径約4mの円形をしています。石皿が出土しました。



土坑1(東から)  
長径約2mの楕円形の穴です。穴の東側から石皿が出土しました。



土坑4(北から)  
長径約1.4m。赤丸の位置から中央に穴のあけられた板状の石製品が出土しました。板状の石製品はきれいに磨かれており、装身具の可能性も考えられます。



竪穴建物4(南東から)  
弥生時代中期の竪穴建物です。3.3×3.8mの方形で弥生土器の破片などが出土しました。空畑遺跡で初めてみつかった弥生時代の遺構です。